vol.4,1th January, 2026

研究開発部門

第4号

News

尚和会PTが大会を牽引！
第36回兵庫県理学療法学術大会 開催レポート

2025年10月19日、第36回兵庫県理学療法学術大会が但馬長寿の郷（養父市）、甲南女子大学（神戸市）で開催されました。
本大会では、研究開発部門長の中谷が大会長を務め、「誰も置いてけぼりにしない学術のあり方を問う」というメッセージを掲げ、従来の大会運営に新たな挑戦を加えました。
兵庫県理学療法学術大会は例年、神戸や姫路などの都市部で開催されることが圧倒的に多い状況でした。そのような中、今年度の学術大会ではメイン会場を兵庫県北部・但馬に設定するという大胆な改革案を打ち出し、さらに神戸の甲南女子大学にサテライト会場を設置し、2会場をオンラインで結ぶという前例のない大会運営に挑みました。
地理的条件や運営体制の調整など多くの課題を抱えながらの開催となりましたが、結果的に全国すべての都道府県からトータル1300名以上の参加者を集めました。これは兵庫県理学療法学術大会史上最多の記録となり、兵庫県における理学療法士の学術活動の新たな可能性を示す記念碑的な学術大会となりました。
また、今大会では「地域でセラピストがどう活躍するか」をテーマに、数多くの教育講演や演題発表が行われました。セラピストによる予防的な関わりや健康増進への取り組み、さらには自治体との連携など、これからの理学療法士の新しい働き方について、活発な議論が交わされました。このテーマのもと、尚和会からも多くの職員が講演や演題発表を行いました。山本泰忠PTが準備委員・シンポジストとして運営に携わり、蓮井PTが教育講演を、森井PTはハンズオンセミナーを担当しました。また山口PT、石榮PT、桂PTの症例報告は阪神北支部の推薦演題に選出され、発表しました。
今回の学術大会は、急性期から生活期まで多様なステージで実践を重ねてきた尚和会の強みを改めてPRする機会となりました。